

しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしょ みやぎの

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野

ねっとわーく



だいごう
第62号
はっごう
発行
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしょ
障害者相談支援事業所
みやぎの
ハンズ宮城野

みやぎの
宮城野

もくじ

- P.1 しょうちょうあいさつ 所長挨拶
- P.2 カード型障害者手帳の交付がはじまりました
- P.3 ピアカウンセラーのつぶやき
- P.4 ハンズ宮城野のインフォメーション



しょうちょうあいさつ ～所長挨拶～

しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしょ みやぎの しょうちょう はやさか けんいち
障害者相談支援事業所ハンズ宮城野 所長 早坂 健一

ほんねんがつ すずきぜんしょうちょうがかわり、とうとうセンターのしょうちょうに就任いたしました早坂と申します。

ひごころより、しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしょハンズみやぎのをご利用いただき、居る皆様をはじめ、関係機関の皆様には、事業所の運営に理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

ハンズみやぎの、そしてみやぎのしょうがいしゃふくしセンターは、平成13年10月に開設し、昨年で20年目を迎えました。ハンズやセンターをご利用されるご利用者の皆様やご家族、地域の皆様を支えられ現在に至っております。

しかし、一昨年より流行している新型コロナウイルス感染症については、私たちの生活を一変させ現在もその脅威は衰えていません。活動の自粛や制限、中止等にご利用者の皆様に大変ご不便をおかけしております。今しばらくコロナのこの状態は続くと思われませんが、一日でも早く普通の生活に戻れることを願うばかりです。

ご利用者の皆様におかれましても、感染防止に努めながら、窮屈を感じながらの生活になっていることと存じます。そのような中、ハンズみやぎのでは、感染対策を講じながら、皆様がより安心して地域生活を送ることができるように、ご家族や関係する機関等の方々と連携して、ご本人にとってより良い相談・支援の提供に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

障害に関する分からないこと、相談したいことなどがありましたら、どうぞお気軽に当センター・ハンズみやぎのまでご連絡ください。

みやぎの そうだんしえんじぎょう あんない ハンズ宮城野 相談支援事業のご案内

- 相談時間： 8:30～19:00
- 相談方法： 来所、訪問、電話、ファックス、Eメール
- 電話：022-295-7440
- Eメール：hands-mi2@shinsyou-sendai.or.jp
- 住所：仙台市宮城野区大槻16-2（宮城野障害者福祉センター内）
- *月曜日、祝日の翌日はお休みです。
- *相談料は無料です。



カード型障害者手帳の交付が始まりました

令和4年2月14日から、仙台市でも障害者手帳の形を、今までと同じ紙の手帳型か、プラスチックのカード型か、どちらかを選べるようになりました。どちらか一つしか選ぶことはできません。では、実際どのような違いがあるのでしょうか？

〇紙の手帳とカード型の手帳の違いって？

主な違いとして、以下のような違いがあります。

■写真は貼り付けではなく印刷

紙の手帳はカラーの顔写真をそのまま貼り付けしていました。そのため、写真が擦り切れて見えにくくなることなどがあります。

カード型はカードに印刷されるため、擦り切れる心配はありません。

なお、偽造防止にパールインキを使用しているため、顔写真は白黒となります。

■サイズ保険証と同じ大きさ

カード型はサイズが保険証と同じです。

■上下を判別しやすいよう、右上に切れ込み

カード型には、視覚障害のある人でも上下を判別しやすくするための切れ込みがあります。

■住所は表面に表示

カード型では住所が表に印字されるため、個人情報が見えやすい位置にあるため、気になる方もいらっしゃるかもしれません。

■障害名は裏面に表示

カード型では障害名は裏面に記載されます。

カード型は小さいため持ち運びが便利ではありますが、備考欄など情報を記載する欄が小さいため、手帳型ほどいろいろと記載することができません。また、住所変更や自動車税減免更新などが多くある場合は欄が足りなくなり、再交付の頻度が増える可能性があります。それぞれの違いを確認しながら、ご自身にとって使いやすいほうを選び、活用してみてください。

お手続きの方法など、詳しくは各区障害高齢課窓口等にお問い合わせください。





ピアカウンセラーのつぶやき



しょうがいしゃそつだんしえんじぎょうしょ みやぎの
障害者相談支援事業所ハンス宮城野

ピアカウンセラー 佐藤 孝志

【 昔があって・今がある 】

わたくし う 私が生まれたところは、石巻です。2歳の時に小児まひの障害になり、今にいたっております。

ちゅうがっこうそつぎょうご ようふくした ぎょう しんしふく ぬ 中学卒業後、「洋服仕立て業」紳士服を縫えるよう、16歳で丁稚奉公になりました。

とうじしょうがい お て しょう み 当時障害を負っても、手に職を身につけておけば、人生、生活していけるからと父に言われました。

てっちほうこう まいあさ じはん お みせ そうじ ご しごと おこな よる じ 丁稚奉公では、毎朝5時半に起き、お店の掃除。その後、仕事を行い、夜は8時ころまで修行の毎日でした。

すぐに縫えるわけではありません。主人から生地（しゆじん）の性質（きし）の、どのようにして洋服（ようふく）ができるのか。一針一針縫（ぬ）っていき、経験（けいけん）を積（つ）むしかない毎日（まいにち）でした。

1年（ねん）くらいでようやく、創作（そうさく）しながらズボン（ぶつぽん）を縫（ぬ）えるようになり、3年（ねん）経（た）って背広（せびろ）が縫（ぬ）えるようになりました。ただ縫（ぬ）えばよいものではありません。人（ひと）それぞれの体質（たいしつ）・体形（たいけい）に合（あ）うように、スタイル（かんが）を考（かんが）えて縫（ぬ）製（せい）を行います。自分（じぶん）が縫（ぬ）製（せい）した服（ふく）をお客（おきゃく）様に着（き）ていただき、「体（からだ）に良（よ）く似（に）合（あ）うよ」と言（い）われると、うれ（うれ）しく、励（はげ）みにもなりました。

口（くち）には言（い）い表（あらわ）せない縫（ぬ）製（せい）の難（むずか）しいところは、経験（けいけん）ととも（とも）に解決（かいけつ）をしていきました。

5年（ごねん）間の丁稚奉公（てっちほうこう）の修行（しゆぎょう）へて、都会（とかい）に出て勉強（べんきょう）をしてくる覚悟（かくご）になり東京（とうきょう）に行（い）きました。東京（とうきょう）での1年（ねん）目は、東（とう）京（きょう）日（にっ）本（ぽん）橋（はし）三（さん）越（こ）本（ほん）店（てん）のオーダー（おーだー）を縫（ぬ）うことができた。2年（にねん）目（め）からは、銀座（ぎんざ）に3店（さん）舗（ぽ）構（かま）えるテーラー（てーらー）に就（しゅう）職（しやく）し、職（しやく）人（にん）として働（はたら）きました。当時（とうじ）、職（しやく）人（にん）さん（さん）が30名（さんじゅう）ほ（ほ）ど（ど）おり、縫（ぬ）製（せい）も競（めい）争（しやう）して出来栄（できば）えを検（けん）証（しやう）したも（も）の（の）です。何（なん）着（ちやく）縫（ぬ）って（も）出来栄（できば）えに満（まん）足（そく）すこと（こと）はな（な）か（か）つ（つ）た（た）と思（おも）います。常（じょう）にどうす（どう）れば良（よ）いか、ど（ど）の（の）よ（よ）う（う）に（に）し（し）た（た）ら（ら）み（み）な（な）さん（さん）よ（よ）り（り）も（も）上（じやう）手（ず）に（に）で（で）き（き）る（る）の（の）か。何（なん）を（を）・・・何（なん）を（を）どうす（どう）れば良（よ）いか、考（かんが）える日（ひ）々（じつ）で（で）した。俳（はい）優（ゆう）の「草（くさ）刈（かり）正（せい）雄（ゆう）」「大（おほ）川（がわ）橋（はし）蔵（ぞう）」の服（ふく）を縫（ぬ）製（せい）した（し）こと（こと）は、今（いま）で（で）は良（よ）い思（おも）い出（で）です。

と（と）に（に）か（か）く（く）人（ひと）に（に）負（ま）け（け）た（た）く（く）ない（ない）気（き）持（もち）と（と）、研（けん）究（きゆう）し（し）て（て）先（せん）輩（ぱい）の（の）仕（し）事（じ）を（を）「盗（ぬす）む（む）」こと（こと）が上（じやう）達（たつ）に（に）つ（つ）な（な）が（が）り（り）ま（ま）した（た）。

東京（とうきょう）で（で）の（の）5年（ごねん）間（かん）は、私（わたくし）に（に）と（と）つ（つ）て（て）勉強（べんきょう）の（の）毎（まい）日（にち）で（で）した（た）。夜（よ）間（かん）通（つう）学（がく）した（し）た（た）「東（とう）京（きょう）洋（や）服（ふく）専（せん）門（もん）学（がく）校（こう）」、営（えい）業（ぎやう）マ（ま）ン（ん）と（と）お（お）客（きゃく）様（さま）を（を）訪（ほう）問（もん）し、営（えい）業（ぎやう）マ（ま）ナー（な）・話（わ）法（ぽう）等（とう）を（を）習（しゅう）得（とく）した（し）こと（こと）。東京（とうきょう）で（で）はタ（た）キ（き）シ（し）ード（ど）や（や）モー（もー）ニ（に）ング（んぐ）と（と）、一（ひと）通（つう）り（り）縫（ぬ）製（せい）を（を）取（しゆ）得（とく）する（する）こと（こと）も（も）で（で）き（き）ま（ま）した（た）。

東京（とうきょう）から（か）り（り）、石（いし）巻（まき）に（に）て（て）「テ（て）ー（え）ラ（ら）ー（あ） 佐（さ）藤（とう）」を（を）開（あ）業（ぎやう）し、3年（さんねん）経（た）つ（つ）て（て）商（しょう）売（ばい）も（も）軌（き）道（どう）に（に）乗（の）り（り）始（はじ）め（め）た（た）こ（こ）ろ（ろ）、「しょうがいしゃこようそくしんぼう しょうがいしゃ やと はなし じゆけん ごうかく」「障害者雇用促進法」で郵便局（ゆうびんきょく）でも障害者（しょうがいしゃ）を（を）雇（やと）う（う）とい（い）う（う）お（お）話（わ）が（が）あ（あ）り（り）、受（じゆけん）験（けん）し（し）たら（ら）合（ごう）格（かく）し（し）ま（ま）した（た）。仙（せん）台（だい）東（とう）郵（ゆう）便（べん）局（きょく）の（の）庶（しよ）務（む）課（か）会（かい）計（けい）課（か）に（に）採（さい）用（よう）と（と）なり（り）、転（てい）勤（ねん）は（は）あ（あ）り（り）ま（ま）し（し）た（た）が（が）、定（てい）年（ねん）ま（ま）で（で）勤（めい）め（め）る（る）こと（こと）が（が）で（で）き（き）ま（ま）した（た）。

てっちほうこうじだい ようふくや しゆじん おくさま かぞく じぶん むすこどうよう 丁稚奉公（てっちほうこう）時代（じだい）に、洋服屋（ようふくや）の（の）主（しゆ）人（にん）、奥（おく）様（さま）、その家（か）族（ぞく）が（が）自（じ）分（ぶん）を（を）息（い）子（こ）同（どう）様（よう）に（に）か（か）わ（わ）い（い）が（が）つ（つ）て（て）い（い）た（た）だ（だ）い（い）た（た）こと（こと）、東京（とうきょう）で（で）の（の）人（ひと）と（と）の（の）か（か）わ（わ）り（り）方（かた）が（が）、皆（みな）さん（さん）に（に）良（よ）く（く）し（し）て（て）い（い）た（た）だ（だ）い（い）た（た）こと（こと）が（が）あ（あ）り（り）、今（いま）の（の）自（じ）分（ぶん）が（が）あ（あ）る（る）の（の）か（か）と（と）思（おも）い（い）、今（いま）でも感（かん）謝（しゃ）の（の）気（き）持（もち）で（で）い（い）っ（い）ぱ（ぱ）い（い）です（す）。

みやぎの ハンス宮城野 インフォメーション

ねんかんぎょうじ あんない
～年間行事のご案内～

つき 月	ぎょうじ 行 事	
れいわ ねん 令和4年	6月	こうほうし みやぎの だい ごうはっこう 広報誌「ねっとわーく宮城野」第62号発行
	7月	もくよう だい もくようび 木曜サロン「りらくらぶ」(第3木曜日13:30～15:00)
	8月	
	9月	だい かい げんき みやぎのしょうがいしゃふくし きょうさい 第10回「元気まつり」(宮城野障害者福祉センターと共催) もくよう だい もくようび 木曜サロン「りらくらぶ」(第3木曜日13:30～15:00)
	10月	こうほうし みやぎの だい ごうはっこう 広報誌「ねっとわーく宮城野」第63号発行 しょうがいしゃ かぞくむ こうざ 障害者・家族向け講座
	11月	もくよう だい もくようび 木曜サロン「りらくらぶ」(第3木曜日13:30～15:00)
	12月	
れいわ ねん 令和5年	1月	もくよう だい もくようび 木曜サロン「りらくらぶ」(第3木曜日13:30～15:00) しゃかいせいかつりよく こうざ 社会生活カプログラム講座
	2月	こうほうし みやぎの だい はっこう 広報誌「ねっとわーく宮城野」第64号発行 ようせいこうざ みやぎのしょうがいしゃふくし きょうさい ボランティア養成講座(宮城野障害者福祉センターと共催)
	3月	もくよう だい もくようび 木曜サロン「りらくらぶ」(第3木曜日13:30～15:00) けんしゅう みやぎのしょうがいしゃふくし きょうさい ボランティア研修(宮城野障害者福祉センターと共催)

※日程は変更または中止になる場合があります。

＜休館日のお知らせ＞

6月・・・6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)

7月・・・4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

8月・・・1日(月)、8日(月)、12日(金)、15日(月)、22日(月)、29日(月)

9月・・・5日(月)、12日(月)、19日(月)、24日(土)、26日(月)

10月・・・3日(月)、10日(月)、17日(月)、24日(月)、31日(月)



ご意見・ご感想をお待ちしております

しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしょ みやぎの
障害者相談支援事業所ハンス宮城野

〒983-0835 仙台市宮城野区大槻16-2 仙台市宮城野障害者福祉センター内

電話 ・ ファックス 022-295-7440

メールアドレス hands-mi2@shinsyou-sendai.or.jp